

帝塚山学院  
TGウイメンズコーラス

# まつぼっくり

10th

Anniversary Concert

2018年

3.11

Sunday

15:00 開演

ドーンセンター

主催：TGウイメンズコーラス まつぼっくり

後援：帝塚山学院帝塚山同窓会・「音楽の玉手箱」後援会



音楽の玉手箱後援会 会長 朝倉 治雄

「ウィメンズコーラスまつぼっくりの10周年記念コンサート」の開催を心からお祝い申し上げます。

ウィメンズコーラスまつぼっくりは、メンズコーラスまつぼっくりの発足から5年を経過した平成19年12月1日に、斎藤先生のご尽力により「第7回音楽の玉手箱」における音楽の玉手箱コーラスの女性達を中心に結成されたと聞き及んでおります。それ以後40名を超える会員を維持し、地道な活動を続けてこられ、本年無事10周年記念コンサートを迎えられましたことは誠に喜ばしく、音楽の玉手箱後援会の会員一同心から敬意を表する次第です。

また音楽の玉手箱後援会にとりましてウィメンズコーラスまつぼっくりはメンズコーラスまつぼっくりとともに後援会の中核をなす存在であり、10周年を期に今後増々ご活躍されることをご期待申し上げます。

最後にウィメンズコーラスまつぼっくりはメンズと違って、音楽性も素晴らしく高いレベルにあり、本日お聴きになる皆様にとっても癒される一日になると思います。どうかお楽しみください。

平成30年3月11日

## 10周年記念コンサートによせて

齋藤 久美子

本日はご来場ありがとうございます。

ウイメンズの皆さん!!とうとう10周年の今日を迎える事が出来ましたね。

誠におめでとうございます。井岡さん・山田さんありがとうございます。

前伴奏者の細井さんにも心より御礼申し上げます。

学院同窓会に音楽系として「コーラス」・美術系として「Art Box」を作ろうよ!とお声をかけたのが約20年前のことです。直ぐに発足したのが男声合唱団「メンズコーラス まつぼっくり」の皆さんです。「ウイメンズコーラスまつぼっくり」は数回の「音楽の玉手箱」の混声合唱の経験を経てから、その出演者が女声合唱団として発足致しました。

「ウイメンズコーラスまつぼっくり」は卒業生・保護者・教職員の皆様が集まり、帝塚山学院関係者としての自覚が強く、練習後などの自由時間は、恰も同窓会開催中!かと思われる如く仲睦まじく、温かい雰囲気に含まれております。時間を遣り繰りしながらのコーラス活動ではありますが、学生時代6年間のコーラスコンクールが学院教育の根底にありましたので、豊かな音楽性と経験が頭を持ち上げ、煌めくような合唱団として、只今大きく成長している活動期にあります。そして、母校をお借りして練習をさせていただける環境にありますので、心は女学生時代のように若々しく、ゆったりとしたレッスンをさせていただいております。帝塚山学院のご厚意に心より御礼申し上げます。

「音楽の玉手箱」には混声合唱団で毎回出演させていただいておりますが、最近の上達は目覚しく川下さん、鶯北さんにも感謝しております。学院には男女共に芸術の底力があるということを実感致しております。

今後とも、学院男女混声合唱団まつぼっくりのご援助をよろしくお願い申し上げます。

会場にお越しの皆様、演奏をお聴きになり、私達と一緒に歌いたくなられた方がいらっ  
しゃいましたら、御遠慮なくお申し出てくださいませ。

ご一緒に♪伸び～やま～ぬ～♪ ♪あか～ね～ぐも～♪と歌いましょう。



第 1 部

《Messe à trois voix》

三声のミサ曲

アンドレ・カブレ

Kyrie	キリエ	.....	あわれみの讃歌
Gloria	グローリア	.....	栄光の讃歌
Sanctus	サンクトゥス	.....	感謝の讃歌
Agnus Dei	アニュス・デイ	.....	平和の讃歌
O Salutaris	おお サルタリス	.....	おお 救い主よ

感謝をこめて

散歩の道	作曲 川澄健一 作詞 西垣脩
雪をふむ足音	作曲 川澄健一 作詞 喜志邦三
An die Musik 音楽に寄せて	作曲 シューベルト 作詞 ショーバー 編曲 石若雅弥
	指揮 齋藤久美子

《Messe à trois voix》 三声のミサ曲

アンドレ・カブレ(フランスル・アーブル出身 1878-1925)はパリ音楽院で学んだ作曲家で、指揮者としても活躍しました。ドビュッシーの門下生でもあり、ピアノ曲をオーケストラ用に補筆・編曲したことも有名です。多くの歌曲・室内楽曲を遺していますが、日本で一般に知られているのがこの《三声のミサ曲》(1919-1920年に作曲)です。全曲はカトリック教会のミサ通常文(ラテン語)で構成されていて、対位法的旋法やグレゴリオ聖歌の研究で、より深化した印象派の楽曲となっています。

感謝をこめて

この三曲は、齋藤先生がご自分の学生時代・教師生活を通して一番大事にしてこられた「音楽に出会えた喜びと感謝」をテーマに選んでくださいました。

編曲者 石若雅弥氏:京都市立芸術大学作曲専攻卒業。作曲活動のかたわら、複数の合唱団の指揮者として活動。

〈An die Musik〉 ~ 訳詩 ~

甘美な芸術よ 心病める時も  
人生の荒波のまえにも  
心に灯る愛情の光 別世界へと誘う

零れおちるハーブの溜息  
甘く清らかな旋律 我を天国に誘う  
甘美なる芸術よ 心から感謝の意を捧げる

## プログラム

### 第 2 部

#### ＊ 女声合唱組曲 《今日もひとつ》 (女声3部)

いつだったか	作曲	なかにしあかね
秋のあじさい	作詞	星野富弘
よるこびが集まったよりも		
いちじくの木の下		
今日もひとつ		

#### ＊ 女声合唱のための 《恋ものがたり》より (女声2・3部) 編曲 信長貴富

君は薔薇より美しい	作曲	ミッキー吉野
	作詞	門谷憲二
なごり雪	作曲・作詞	伊勢正三
恋のフーガ	作曲	すぎやまこういち
	作詞	なかにし礼

## Notes

#### ＊ 女声合唱組曲 《今日もひとつ》

星野富弘氏(群馬県出身1946～)は体育教師となりクラブ活動指導中の事故で頸髄損傷が原因で手足の自由を失うも、入院中に口に筆をくわえ文や絵を書き始めました。1991年より国内外で「花の詩画展」を開催。繊細で優しい花の絵、心の奥底に響く詩を集めた詩画集『花よりも小さく』など数多く刊行されています。

作曲家・歌曲伴奏者として活躍中のなかにしあかねさんは東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業。この曲集は星野さん自身が日々をこの上なく大切に生きる中で紡ぎ出し、選び抜かれた言葉をなかにしさんは丁寧に誠実に一つ一つの言葉と寄り添いたいと独唱組曲から2006年に合唱編曲された作品です。

#### ＊ 女声合唱のための 《恋ものがたり》より

〈君は薔薇より美しい〉は1979年化粧品のCMソングとして発売され、布施明の代表作の1つです。

〈なごり雪〉は1974年リリースされたかぐや姫の楽曲で、イルカがカバーして大ヒットした70年代を象徴するフォークソングです。無伴奏女声3部合唱でお届けします。

〈恋のフーガ〉は1967年リリースのザ・ピーナッツのヒット曲です。

作曲家・編曲家である信長貴富氏(東京都出身1971～)は上智大学文学部卒業。独学で作曲し、「朝日作曲賞」などに入選している。編曲作品は童謡から演歌まで幅広く男声・混声用もあります。

# Profile

## 指揮 井岡 潤子 Junko Ioka

大阪音楽大学卒業、同大学院修了。1982年第13回イタリア声楽コンクール入選。'87年第22回民音コンクール入選。モーツァルト「後宮からの逃走」のコンスタンツェでデビュー以後、プッチーニ「蝶々夫人」のタイトルロール、モーツァルト「フィガロの結婚」の伯爵夫人などで活躍。コンサートにおいては、ベートーヴェン「第九」・ヘンデル「メサイア」、マーラー「復活」等を朝比奈 隆、小澤征爾らの著名な指揮者と共演。海外では韓国歌劇場より招聘され、「蝶々夫人」に出演。'94年にはケムニッツ市（独）の歌劇場より招聘され「蝶々夫人」に出演。95年に再度招聘される。近年では、ブリテン「アルバート・ヘリング」、メノッティ「領事」など近現代の作曲家によるオペラにも出演し、2011年大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス20世紀オペラシリーズ「ねじの回転」（女家庭教師役）では文化庁芸術祭大賞を受賞。木村絹子、中沢剛夫、E.リー・デービス、ドンナ・ロール、R.ハニーサッカーの各氏に師事。現在、相愛大学音楽学部、相愛中学、高校音楽科非常勤講師。関西歌劇団理事。関西歌曲研究会理事。



## 指揮 齋藤 久美子 Kumiko Saito

1947年帝塚山学院中学校入学。'50府立清水谷高校入学。'53神戸女学院大学音楽学部声楽専攻入学。'57帝塚山学院非常勤講師となり小・中学部で授業。'59中・高等部専任となり授業・クラブ顧問をする(器楽・ミュージカル・コーラス・ギターマンドリン・ブラスバンド各部)'91大阪府私立中・高等学校連合会より表彰。'94帝塚山学院幼稚園園長就任。同年より帝塚山学院同窓会活動に参加。「Art-Box」「音楽の玉手箱」を始める。'96帝塚山学院創立80周年永年勤続表彰。'97定年退職。その後は合唱活動に専念。



## ピアノ 山田 利恵 Rie Yamada

京都市立堀川高校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部卒業。'96年渡仏。ベルサイユ音楽院をブルミエ・プリで終了。スペインのサン・セバスチャンにてリサイタルを開催する他、パリやドイツにてコンサートに出演。'99年帰国。京都バロックザールにてデュオリサイタル、フォルテピアノヤマモトコレクションコンサート、他多数のコンサートに出演。第5回吹田音楽コンクールピアノデュオ部門最高位。第21回霧島国際音楽祭にて優秀演奏賞及び鹿児島銀行賞。第3回かやぶき音楽堂ピアノデュオ連弾コンクール第3位。第14回国際青少年ピアノコンクール(ローマ)、第12回国際ピアノデュオコンクール(東京)で、2台ピアノ部門第3位。第18回京都芸術祭にて京都府知事賞。現在ソロ・デュオ・室内楽などで幅広く活動



## 司会 町井 嘉子 Yoshiko Machii

帝塚山学院小中高等部卒業後、同短期大学文学部文芸専攻卒業。司会者養成学校を経て、帝国ホテル大阪などホテルでの結婚披露宴を始め、コンサート、各種パーティー、イベント等で司会、ナレーションを務めている。混声コーラスまつぱっくり結成当初より、出演時のコンサートの司会を行っている。



## 演出 唐谷 裕子 Yuko Karatani

帝塚山学院幼小中、高等学校音楽コース卒業。大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。同音楽専攻科声楽専攻。[演出]第1期生を修了。声楽を林誠・今井しづか、演出を中村敬一・岩田達宗・(故)芦田鉄雄・花田英夫各氏に師事。2000年オペラ演出デビュー。京都市立芸術大学・大阪音楽大学・同志社女子大学・神戸山手女子高等学校(音楽科)非常勤講師、関西歌劇団研修所・名古屋二期会コンセルヴァトリーオ指導員、出雲芸術アカデミー音楽院スタッフ(アーティスト・イン・レジデンス)。神戸音楽家協会会員(演出)。日本舞踊山村流の名取りでもある。



©SHIKI UMEZAWA

# 帝塚山学院 TGウィメンズコーラス まつぼっくり

「音楽の玉手箱」演奏会開催時に結成される主に学院の卒業生で構成される合唱団「音玉コーラス」のメンバーを中心に2007年12月に誕生しました。「メンズコーラスまつぼっくり」との交流も多く、混声合唱時の総称は「TGまつぼっくり」です。現在約40名の歌うことが大好きな幅広い年齢層の、多種多様な場で活動する女性たちが、毎週月曜日にコーラスの練習に励む中で、出産、子育て、仕事、介護や社会との関わりなど様々な問題を共有し、意見を交わし、共に克服しながらネットワークを築いています。更に、メンバー各人の知識や経験、あるいは其々が持つ社会とのつながりを、音楽を通して生かすべく、病院や老人ホームなど社会福祉の場でのコンサートにも積極的に取り組んできました。10周年を迎えた今、その成果が実を結びつつあります。そうした活動をもとに、様々なジャンルの曲にも挑戦していますので、今日は是非、日頃の成果をより多くの皆様にお聴き頂き、楽しんで頂けたらと願っています。また、「10周年記念コンサート」という今日の貴重な体験を今後の活動に生かしてまいります。

## Member

### Soprano

池原 加陽子	平松 啓子
北橋 由美	森田 扶美子
炭本 いづみ	森本 知英子
寒川 奈津子	頼 恵子
樽本 裕子	大野 眞理子
東藤 真里	友廣 公子



### Mezzo Soprano

伊井 遊子	田岸 京子
大野 祐子	戸田 佳鶴子
大友 弘子	古内 恵子
尾崎 嘉代子	松尾 恵理
北原 靖子	守本 歌子
倉田 裕子	吉田 喜美子
高濱 寿美子	吉田 順子

### Alto

井口 真由美	鳥井 真理
上戸 真理	藤本 勝子
重野 浩子	藤原 里美
角倉 昌子	堀 良子
祐成 佳代	吉岡 明美
巽 亜耶子	吉田 久美子
田中 有子	南條 真知子





## 活動軌跡

2007	12月	結成	
2008		乗り合いばなし	兵庫県立芸術文化センター
2009		音楽の玉手箱	いずみホール
2010		3周年記念コンサート	ホテルモントレ グラスミア大阪 23F ウィンダミアホール
2011		音楽の玉手箱	いずみホール
2012		5周年記念コンサート	ドーンセンター
2013		音楽の玉手箱	いずみホール
2016		帝塚山学院 100周年コンサート	いずみホール
2017		音楽の玉手箱	いずみホール



## 年間行事

大手前病院	クリスマスコンサート
府立急性期総合医療センター	スプリングコンサート
特別養護老人ホーム 阪和帝塚山苑	サマーコンサート

## 団員募集

### 私たちと一緒に歌いましょう!!

練習	毎週月曜日 10:00～12:00 帝塚山学院 幼稚園館 同窓会ホール
お問い合わせ	090-6757-3706 afblg700@oct.zaq.ne.jp (齋藤)

## 帝塚山学院歌

寿岳文章 作詞  
山田耕祐 作曲

のびやまめ みやこ難波津  
昨日(きそ)の丘 今日(けふ)の八ちまた  
ゆくりかに 様こそ変われ  
この地を よしと定めて  
学び舎の 基石(もと)いしおきし  
そのかみの 人は活きたり  
栄えあれや 帝塚(みづか)の山の  
名に負える 我(われ)らの学院

## 帝塚山学院 祝歌

小野十三郎 作詞  
川澄健一 作曲

あかね雲 清らかに水面(うみ)にうつり  
流れゆく年月 野(の)に鳥(とり)は強く羽(は)ばたき  
幾度(いくばく)か ことほぎ歌(うた)いし 友(とも)の門出(かどでし)  
あゝ 帝塚山(みづか) 白垂(しろた)の学園(がくえん)  
永久(とわ)にかわらぬ 心(こころ)のふるさと

松風(しょうふう)は 爽(さわ)やかに丘(かみ)辺(へ)をわたり  
遥(とほ)かなり我道(わがみち) 噴(ふ)上げは高く上がりて  
明日(あした)また ことほぎ歌(うた)わん 友(とも)の門出(かどでし)  
あゝ 帝塚山(みづか) 平和(へいわ)の学園(がくえん)  
永久(とわ)とわにかわらぬ 心(こころ)のふるさと